



JP10076254

Biblio

Page: 1

Drawing



## WATER PURIFIER

Patent Number: JP10076254  
Publication date: 1998-03-24  
Inventor(s): YAMASHITA TAKESHI;; KISHIMOTO TAKAO  
Applicant(s): SANYO ELECTRIC CO LTD;; TOTTORI SANYO ELECTRIC CO LTD  
Requested Patent: ☐ JP10076254  
Application Number: JP19960234135 19960904  
Priority Number(s):  
IPC Classification: C02F1/28; C02F1/44  
EC Classification:  
Equivalents:

### Abstract

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To enable a filter medium to be replaced relatively inexpensively and simply by a method in which a filter medium receiving case for receiving a filter medium such as activated carbon is installed in a water passage through which city water, etc., are passed, and the filter medium is placed in a case of a nonwoven fabric and placed freely attachably/detachably in the filter medium receiving case.

**SOLUTION:** A water passage 4 which is connected to a city water faucet, etc., is installed in the outer case 2 of a generator main body 1, an additive case 5, the first filter medium receiving case 6, the second filter medium receiving case 7, an electrolytic cell 8 are arranged in sequence in the passage 4, and an alkali ion water supply passage 9 and an acidic water supply passage 10 which supply alkali ion water and acidic water which were produced by passing the current between electrodes to an electrolytic cell 8. A calcium cartridge is placed freely replaceably in the case 5, and the filter medium which was placed in a case of a nonwoven fabric is placed freely attachably/detachably in the case 6.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

通管で、上記連結筒22、35が係入する係入溝37、38を凹設している。

【0016】図1において39は上記外ケース2の上部に区画形成した交換室で、上記添加物ケース5、第1及び第2の汚材収納ケース6、7の上部を臨ませ、これらの着脱が行える様に構成していると共に、開閉又は着脱可能な外蓋40により被覆し、かつこの外蓋の内側には、上記連通管36を押さえて抜け止めを行う当接部41を一体的に突設している。

【0017】而して、蛇口3を開いて通水路4に水道水等を連続的に給水すると共に、電解室8内の電極等に通電することで、通水路4内に給水された水は、添加物ケース5を通過する間にカルシウム等の健康剤が添加された後、第1の汚材収納ケース6を通過する間に汚材23により残留塩素等が除去され、次いで第2の汚材収納ケース7を通過する間に中空糸膜28により微細な細菌等が除去され、更に電解室8にてアルカリイオン水と酸性水に電気分解され、生成されたアルカリイオン水はアルカリイオン水給水通路9より給水され、酸性水は酸性水給水通路10より給水される。

【0018】又上記汚材23の交換に際しては、外蓋40を開いた後連通管36を取り外し、第1の汚材収納ケース6を受ケース11より取り出した後、ケース蓋18をケース本体16より外せば、汚部27がこれらケース蓋とケース本体との挟着が解放されてケース24が取り出せるので、これを交換する事で比較的簡単に交換出来る。

【0019】尚、使用済の汚材23はケース24に入れた状態で廃棄し、交換後は上記と逆の手順で外ケース2内に収納装着を行う。

#### 【0020】

【発明の効果】本発明の構成により、活性炭等の汚材を不織布により形成したケースに収納したことで、交換部品が汚材とケースのみと成り汚材を大幅にコストダウン出来ると共に、汚材の交換時にはケースに入れたまま交換し、使用済の汚材もケースに入れたまま生ゴミとして廃棄することが出来、使い勝手も向上するものである。

【0021】更に本発明は、汚材を収納するケースを本体ケースと蓋体で構成し、かつこれらを本体ケースに設けた汚部で接合すると共に、この汚部を、ケースを浄水器本体内に組み込む為の収納ケースのケース本体とケース蓋との接合部にて挟着したことで、ケースの固定を比較的小さい構造で行う事が出来、これにより汚材の交換作業が行い易くなるものである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を示す概略構成図である。

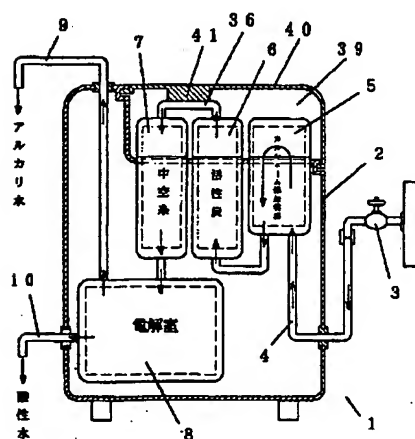
【図2】同じく要部の正面縦断面図である。

【図3】同じくケースの縦断面図である。

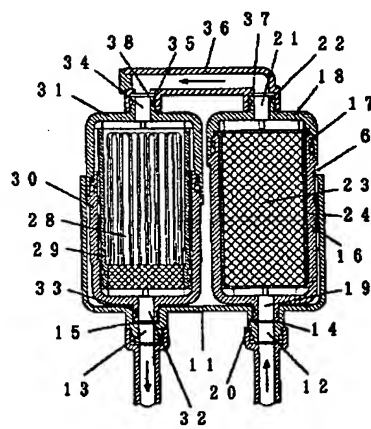
#### 【符号の説明】

- 4 通水路
- 6 第1の汚材収納ケース
- 16 ケース本体
- 18 ケース蓋
- 23 汚材
- 24 ケース
- 25 本体ケース
- 26 蓋体
- 27 汚部

【図1】



【図2】



【図3】

